

①  
コストを下げる  
企業ブランディング  
のプロフェッショナル

# 自社オリジナルのお中元・お歳暮を 低価格で作る方法

## 2500社以上の企業ブランディングを お菓子でサポート

エスプライドグループ  
**働くお菓子。**  
代表取締役  
西川 世一  
にしかわ せいいち  
1978年、鹿児島生まれ。アザインの専門学校卒業後、2001年に印刷製菓会社に入社、2002年にお菓子事業を立ち上げ、2005年に独立・分社。株式会社エスプライドを設立し、代表取締役CEOに就任。2010年にエスプライドグループとして株式会社働くお菓子を設立し、代表取締役に就任。



お歳暮の「のし」を外せば、どこから贈られたのか分からない

— 御社は法人向けに「企業オリジナルのお中元・お歳暮」を作っているそうですね。

西川 世一 ええ、もともと私たちは「企業オリジナルのお菓子」を作ってきました。そのノウハウを活かして、「企業オリジナルのお中元・お歳暮」の企画・制作を始めました。このサービスをスタートしたのは2009年12月。その後、この商品の認知度が上がり、わずか半年で数十社に導入してもらえるようになりました。リピート率は90%

合、いくらぐらいかかるのでしょうか？

西川 世一 1箱当たり15000〜50000円ぐらいです。一般的なお菓子のお歳暮の場合、相場は20000〜50000円。つまり、既製品とほとんど価格は変わらないんです。

制作期間としては、最初のお打ち合わせから2〜4週間で納品。数量は50個から対応しています。もちろん、パッケージとお菓子は完全なオリジナルデザインです。

— 完全オリジナルにも関わらず、低価格・短納期を実現しているんですね。

西川 世一 ええ、価格については、クライアントの予算の範囲内でご提案しています。ただ、このお歳暮の本来のメリットは、価格が安いことではありません。本来のメリットは、日頃の感謝の気持ちだけでなく、自社の個性まで伝えられるということ。一石二鳥なんです。個人的なお歳暮をお贈りすれば、自社の企業イメージやサービス名まで強く印象に残すことができます。結果として、自社ブランディングもできるわけです。

また、お歳暮の「活用法」を工夫すれば、さらに自社の印象を強く残せます。たとえば、少し早い時期に贈って、相手に印象を残す。オリジナルデザインの袋に入れて、営業マンが直接手渡しする。このように、工夫次第で相手への印象をさらに強く残すことができます。

コーポレートロゴ入りのクッキー、社長の似顔絵が描かれた船、トラック型のパッケージなど、ユニークな「企業オリジナルのお菓子」を作っている会社がある。企業ブランディングを手がける「株式会社働くお菓子」だ。同社は2009年12月に日本初の新サービスをスタートさせた。それは「企業オリジナルのお中元・お歳暮」の企画・制作。今回は代表の西川氏に、オリジナルお歳暮のメリット、企業ブランディングのポイントなどを聞いた。

以上、クライアントからは「お客さまと会話弾む」、「二度オリジナルを贈ったら、もう既製品は贈れない」と好評です。

— どのような企業が「自社オリジナルのお中元・お歳暮」を活用しているのですか？

西川 世一 「日頃の感謝の気持ちをカタチにしたい」と考えている企業ですね。そもそもお中元やお歳暮は、日頃からお世話になっている方々へ感謝の気持ちを伝えるものです。しかし、多くの企業は単に既製品に「のし」を巻いて、流れ作業のようにお中元やお歳暮を贈っています。つまり、形式的なんです。もらった相手も「のし」を外せば、どの会社から贈られたものか分かりません。分かれるのは商品や百貨店のブランドだけ。だから、礼儀を大切にしている企業ほど「自社オリジナルのお中元・お歳暮」を活用していただいています。

また、コスト意識の高い企業が多いですね。会社としてお中元・お歳暮に予算を使う以上、形式だけではもったいない。そういった考えをお持ちの企業が多いです。

多額の費用をかける必要はない  
工夫次第で自社の個性を  
発信できる

— 実際にオリジナルお歳暮を作る場



## 低価格・高付加価値が 両立できる3つの理由

パッケージも  
お菓子も  
完全オリジナル  
なのに安い!

### 1 直接販売しているから

通常のお中元の価格には、中間業者の利益が上乗せされている。「働くお菓子」はお中元の企画・制作から販売までを一貫して手がけているため、流通コストを抑えられる。



### 2 企画・デザインを内製化しているから

「働くお菓子」はプランナー、デザイナーを自社で雇用しているため、顧客の多様なニーズに柔軟に対応することができる。また、4000種類以上のオリジナルお菓子を作ってきたノウハウを活かし、顧客ごとに異なる提案を可能にしている。



### 3 4000種類以上の「型」を保有しているから

特殊な形のパッケージを作る際は、パッケージの「型」をゼロから作る必要がある。そして、この型の作成には別途5〜10万円の費用がかかる。しかし「働くお菓子」は4000種類以上の型を保有しているため、新たな型を作らなくても多様なパッケージを作ることができる。

コストを下げる

企業ブランディングのプロフェッショナル

株式会社働くお菓子